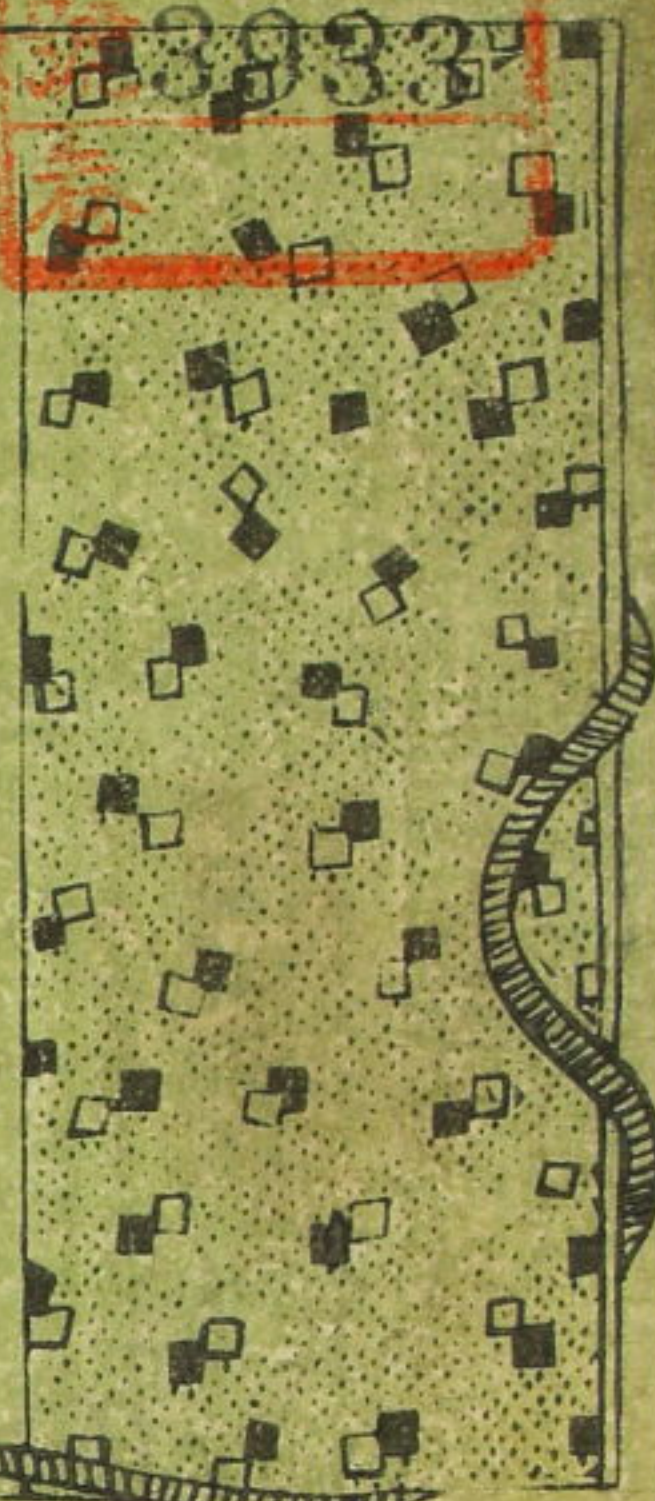


~13
3933



13



清川文七物語

傾城貞操 龜鑑

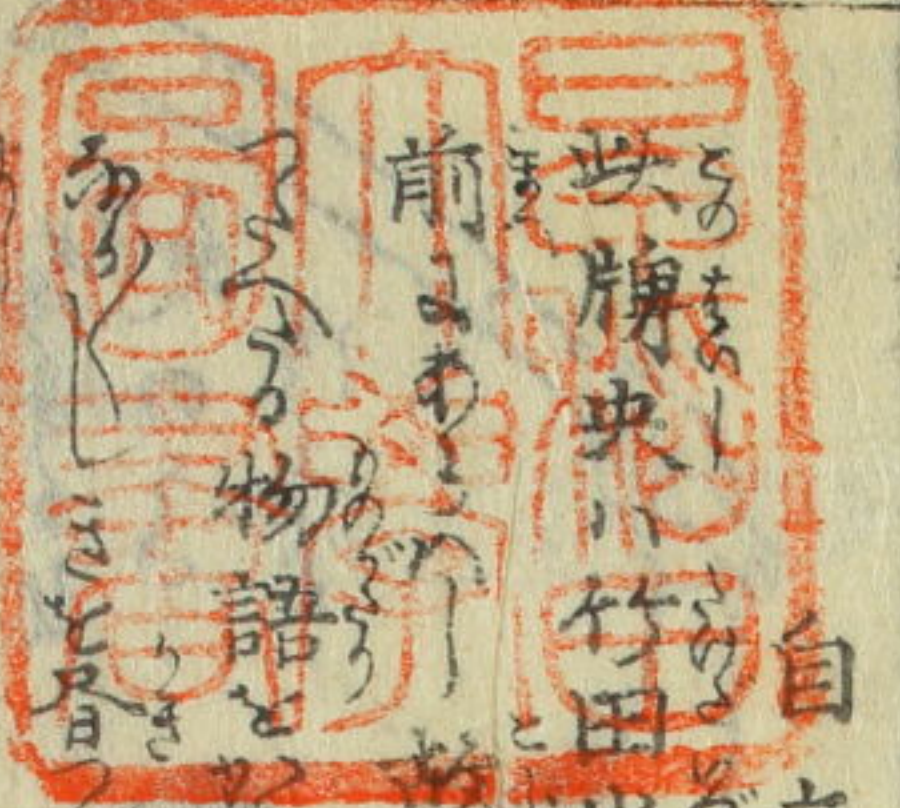
全六冊合本二冊

永壽堂梓園圖

近江國甲賀家重寶劍之圖



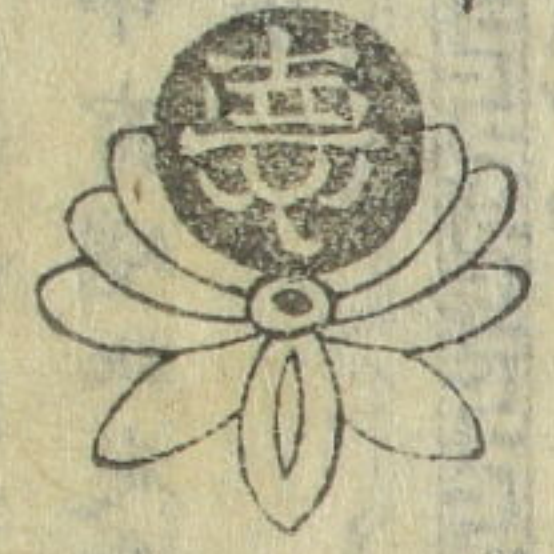
自序



此牌中央竹田出雲掾がはらうらる男作五鳳金といふ院本又據きて
前より物語とていふて一部の小説とを編輯を抄りのもかたきて長羽織乃
由あれたる物語とて主顧乃君子見ゆるたもはは
唯春雨の

文化六年己巳夏草稿 廿七年庚午春正月發兌

橋本 德瓶 作



菊川 英山 画



西村 永壽 堂梓



文七

吹笛秋山風月清誰家巧作斷腸數風飄律呂相和切月傍關山
 歲處明胡騎中宵堪並走武陵一曲想南征故園楊柳今搖落何
 得愁中却冬生
 關臺門 松山録隱

○近江國甲賀家の
 小姓 花岡文七

五元集

文七
 ぬまのな
 うまのうま
 ほうま



○甲賀家の

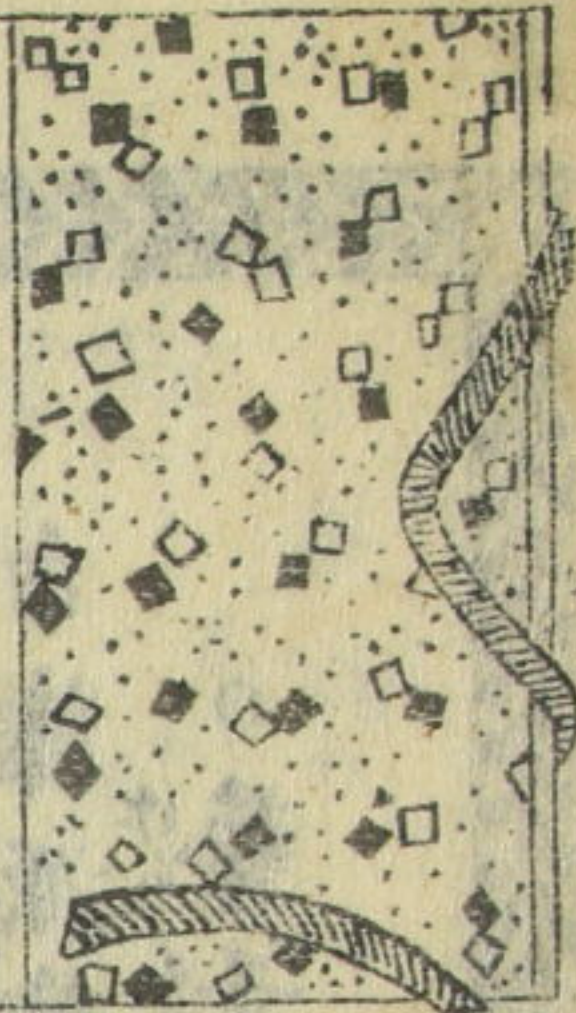
如古琴
 後又泉の塚
 守の遊君
 清川

○山城の

賢者の
 城の
 坊柙
 うか
 晋子







上上吉

甲 甲賀三郎

上上吉

あ あやめの方

上上吉 若丸男

文 花岡文七

上上吉 若女

清 けいせい清川

上上吉 若女

重 小豆見妹丈相

上上吉

軍 荒川軍作

荒川軍作



上上吉

新 浅間新五兵衛

上上吉

姦 浅岡喜内

上上吉

姦 喜内妻久八

上上吉

附 僕とさ平

上上吉

昭 かること

上上吉

茂 白藤源藏

上上吉

春 藝子小俊

僕とさ平



四之卷



此の巻の初めに...
 〇さて又...
 〇さて又...
 〇さて又...

〇さて又...
 〇さて又...
 〇さて又...

徳瓶作
 英山画

